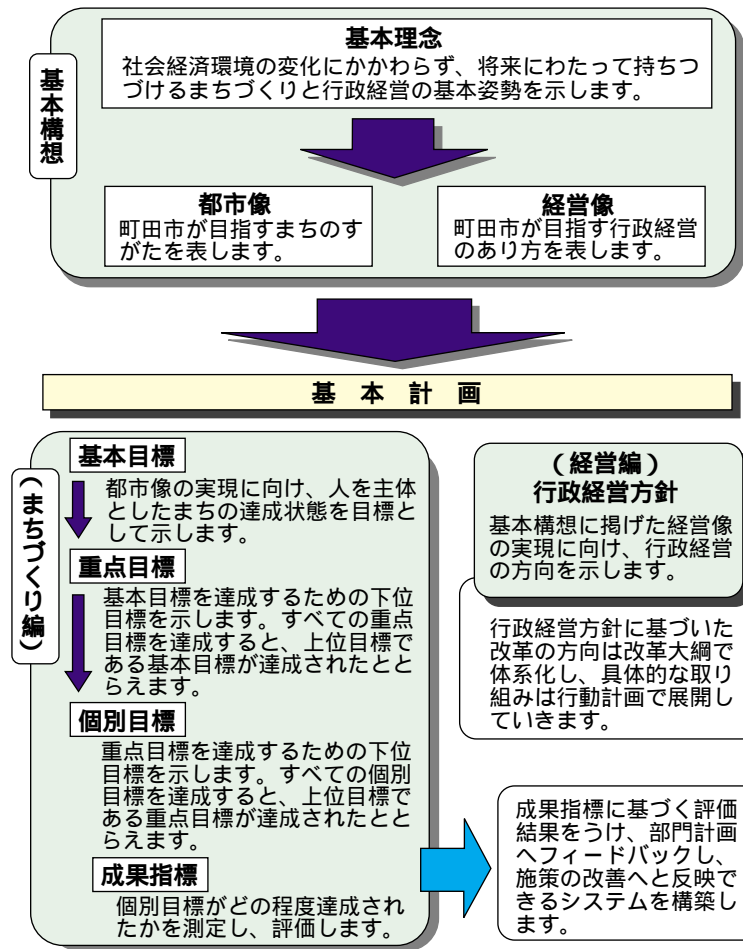


**市の将来都市像**  
人と地域が主体のまち  
人が集まり、豊かに  
すごせる魅力あるまち  
活躍する人が育つまち

## 計画の構成



# 新しい町田市基本構想・基本計画が 決定しました

## 計画期間は2004年度から10年間

町田市は、新しい時代を見据えた都市経営を目指し、2004年度から10年間の基本構想・基本計画を決定しました。これは、町田市長期計画審議会での答申を踏まえ、3月に基本構想が市議会の議決を受けたことによるものです。

### 基本構想・基本計画の位置づけ

基本構想は、基本理念、都市像、経営像を明らかにするもので、町田市におけるまちづくりの基本指針となるものです。基本計画は、基本構想を受けた市の最上位計画として、都市像、経営像の実現に向け、取り組むべき方向を明らかにし、他の計画をコントロールします。

### 新しい基本構想の特長

**都市経営と行政経営の視点を明らかにする構想**  
町田市の自治体運営の基本方針を、地域社会を対象とする「都市経営(まちづくり)」と、市の行政組織を対象とする「行政経営」の双方の視点から明らかにしました。

### 新しい基本計画の特長

**優先して達成すべき状態を明らかにした計画**  
基本構想に示す「まちのすがた」の実現に向け、優先して達成すべきことを政策の目標として明らかにしました。目標は、環境・教育・福祉などの分野にとらわれず、

### 市民や関係主体と共有できる構想

まちづくりや行政経営の基本的な考え方、まちや行政の目指すべきすがたを明確に表現することにより、それらを市民・企業・NPOなどの関係主体と共有できるようにしました。

### 「人」が主体の構想

地域で生活し活動する「人」を主体とした基本構想としました。そのため、実現しようとする「まちのすがた」を人や社会のあり様として表現しました。

総合的な視点から設定しました。成果を評価し、施策の見直しができる計画

目標の達成状況を測定するための成果指標を設定し、評価の基準を明確にしました。それにより、計画期間にどこまで達成できたかわかり、評価に基づいて目標達成のための有効な手段(施策)を選択、見直しができます。

### 環境変化に柔軟に対応できる計画

政策の目標は長期的視野を持って設定されますが、施策は環境の変化に応じて柔軟に見直していかなくてはなりません。そこで、基本計画の目標達成のための具体的な施策を明らかにした「部門計画」を別に策定・展開することにより、常により効果的な施策へと修正・変更ができるようにします。

### 市民や関係主体とともに達成を目指す計画

基本計画の目標は、「実現すべき社会の状態」を表したものであり、行政のみならず市民や関係主体と連携した取り組みが不可欠です。そこで、行政は地域社会の様々なまちづくりの関係者と目標を共有し、協働・連携関係を構築していきます。

### 計画書について

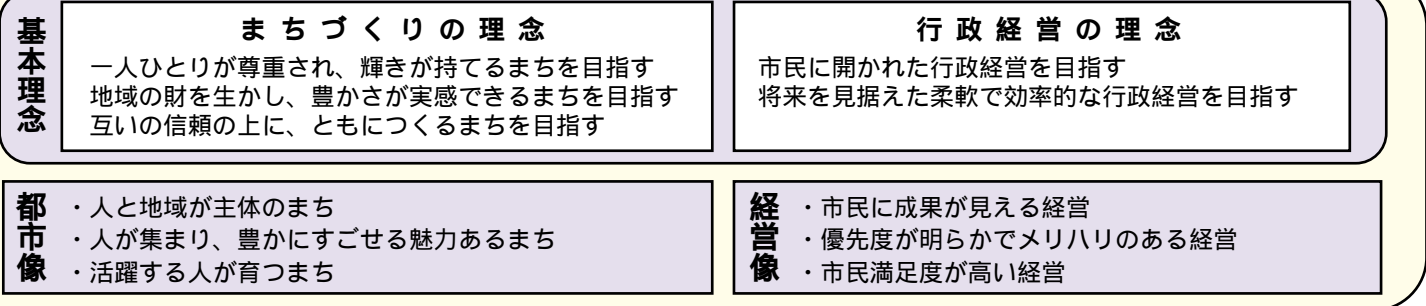
計画書は、市政情報やまびこで販売(500円)します。また、計画書の概要版を政策審議会、市民相談室、市政情報やまびこ、図書館、公民館、各市民センターにて無料頒布します。

### 市民意見の公表

計画策定の過程で、市民の皆さんからいただいたご意見の概要と計画への反映結果を、町田市ホームページに公表しています。  
問 政策審議会 ☎ 724・2503

## 計画の体系

### 基本構想



### 基本計画

### まちづくり編

